

# 次期ガス安全高度化計画の策定方針 について（案）

2019年3月1日

経済産業省産業保安グループ

ガス安全室

# 次期ガス安全高度化計画の構成案（その1）

- 現行のガス安全高度化計画は、国、ガス事業者、需要家及び関係事業者等の多様な者による協働体制の下に、多面的な視点からの行動計画となっており、自主保安を進める上で効率的なアプローチであることから、原則、現行の安全高度化計画の枠組みは踏襲するものとして、その章立ては大きく変更しない。
- 次期安全高度化計画において、環境変化や想定リスクとしてどのような事項を考慮するかについては、2019年度に詳細検討する。

議題	次期安全高度化検討の留意事項
ガスの安全高度化の現状と検討の基本的方向	
1. 安全高度化計画の検討の基軸	・ 2019年度検討
2. 現状分析	・ 別紙参照
3. ガス事業を取り巻く社会環境の変化と想定されるリスク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 下記項目を環境変化として考慮するかどうか、次年度詳細検討する。</li> <li>①担い手や需要家等の構造変化（工事担い手不足、高齢者・外国人比率増加、災害対応未経験者の増加等）</li> <li>②導管部門分社化（連携意識の変化）</li> <li>③IoTの利用拡大、これに伴うサイバーセキュリティ対策実施の要求の高まり</li> </ul>
4. 安全高度化計画策定の基本的方向	・ 2019年度検討

# 次期ガス安全高度化計画の構成案（その2）

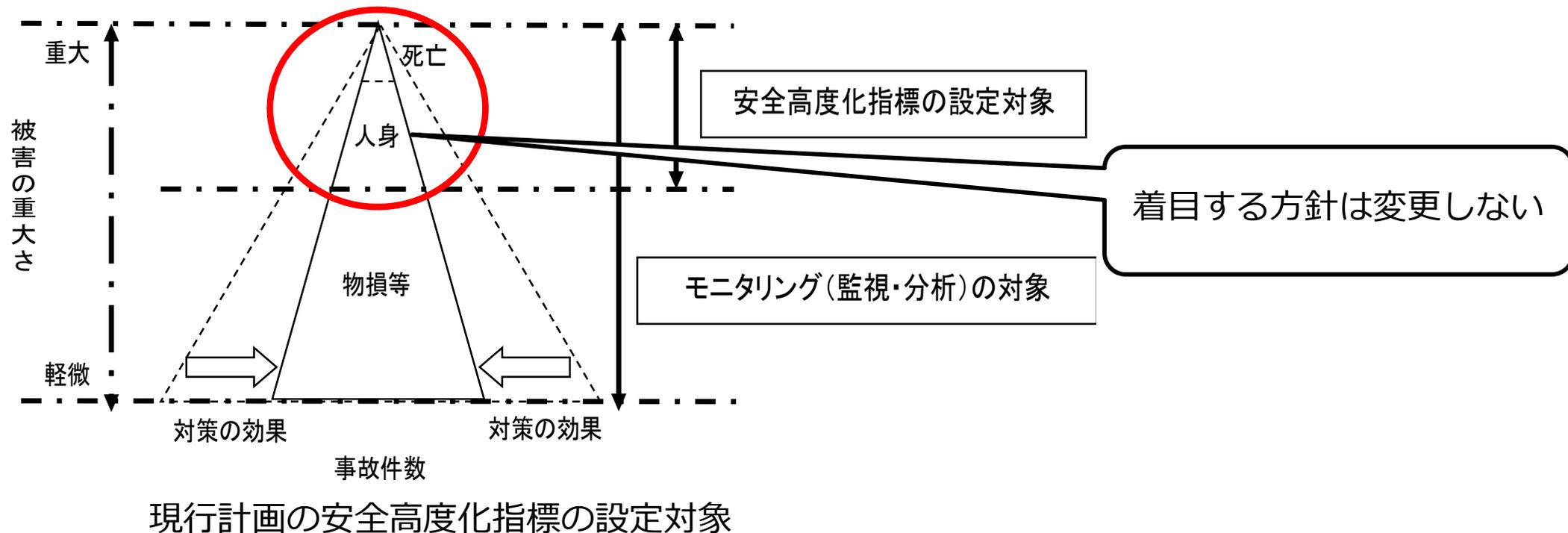
- 安全高度化指標は、現行同様に「死亡事故件数、人身事故件数」で評価する。

議題	次期安全高度化検討の留意事項
安全高度化計画	
1. 安全高度化計画策定の基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 10年後の2030年を目標年次とする</li><li>・ 2026年に中間評価、計画見直し実施</li></ul>
2. 安全高度化目標	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 死亡事故ゼロ、関係者協働による安全・安心な社会実現など、方針は変更しない</li></ul>
3. 安全高度化指標	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 死亡/人身事故に着目する方針は変更なし</li><li>・ 事故の実態を分かり易く表現しているため、現行同様「死亡事故、人身事故件数」で評価</li><li>・ 具体的な指標値は2019年度詳細検討</li></ul>
4. 安全高度化目標の達成に向けた実行計画（アクションプラン）	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 2019年度主要項目検討</li><li>・ 2020年度詳細検討</li></ul>
5. 指標に対する状況把握と実行計画（アクションプラン）の不断の見直し	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 現行同様に毎年度フォローアップ</li><li>・ 大規模な事故・災害等発生時に見直し</li></ul>

## (参考) 指標の考え方

- 「死亡事故ゼロ」の目標は変更しない。
- 上記目標を達成するために、指標としては死亡事故件数に加えて、死亡事故につながる可能性の高い人身事故に着目する方針は変更しない。

※物損事故等については、死亡事故・人身事故に対する対策を講じることで、同様に事故件数の低減が図られると考え、個別の数値指標は設定しない。



# 次期ガス安全高度化計画の構成案（その3）

- 各段階で求めるべき具体的な保安対策は、2019年度に検討する。

議題	次期安全高度化検討の留意事項
消費段階における保安対策	
<ol style="list-style-type: none"><li>1. 事故分析に基づく保安対策の考え方</li><li>2. 排気ガスによるCO中毒事故対策</li><li>3. ガス漏えいによる爆発又は火災事故対策</li></ol>	・ 2019年度詳細検討
供給段階及び製造段階における保安対策	
<ol style="list-style-type: none"><li>1. 事故分析に基づく保安対策の考え方</li><li>2. 他工事事故対策</li><li>3. ガス工作物の経年化対応</li><li>4. 自社工事事故対策</li></ol>	・ 2019年度詳細検討 (スマートメーター、ドローン等、新技術を活用したより効率的、効果的な保安点検方法の検討 等)

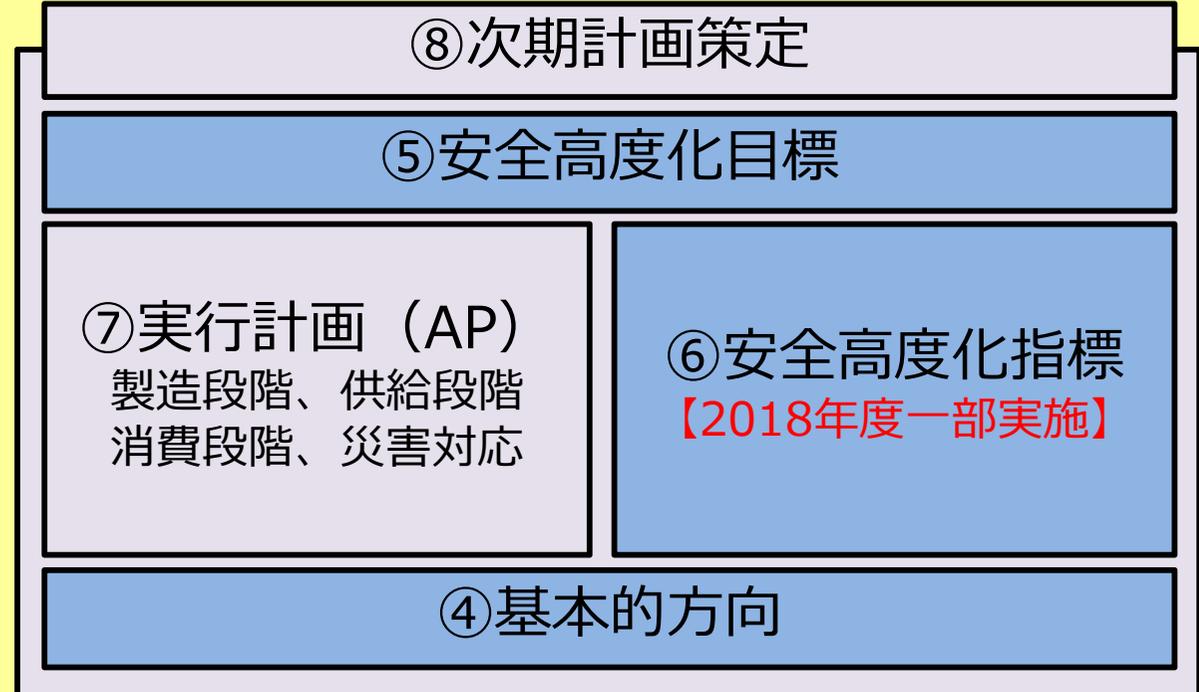
## 次期ガス安全高度化計画の構成案（その4）

- 各視点で求めるべき具体的な保安対策は、2019年度に検討する。

議題	次期安全高度化検討の留意事項
災害対策	
1. 災害へのガス事業の備え	・ 2019年度詳細検討
2. 地震対策	・ 3本柱（設備対策、緊急対策、復旧対策）は継続 【別議題参照】
保安人材の育成と需要家への安全教育・啓発	
1. 保安人材育成の役割と方向性	・ 新技術を活用し、より効果的な育成方法を検討
2. 需要家への安全教育・啓発	・ 2019年度詳細検討

# 今後のスケジュール

## ①今後の進め方（全体像）



安全高度化目標 2020年の死亡事故ゼロに向けて、国、ガス事業者、需要家及び関係事業者等が、各々の果たすべき役割を着実に実行するとともに、環境変化を踏まえて迅速に対応することで、各々が協働して安全・安心な社会を実現する。

安全高度化指標 2020年時点 (件/年)

実行計画(アクションプラン) 2. 供給・製造段階における保安対策

①現行計画の実施状況  
【フォローアップ資料参照】

- ・事故件数の推移
- ・主な事故原因
- ・対策状況（アクションプラン）

注：実行計

③今後のガス事業展開と想定リスク  
【2018年度一部実施】

②2020年時点での達成見通し